

実践例：中学校数学

単位時間の学習例：第3学年「相似な図形」

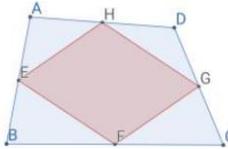
ICT活用の場面及び機能とよさをチェック!

短時間で！
効率的に！



1. 前時の学習を振り返り、本時の問題とめあてをつかむ。
めあて：四角形EFGHが特別な形になるのはどんな条件のときか。

□ 提示・配布機能



生徒が図形シミュレーションで作った図を共有し、ひし形や長方形、正方形になる場合を想起させる。

2. 個別に考えた特別な形になる図を班で集め、その条件を考える。

□ 思考の補助機能

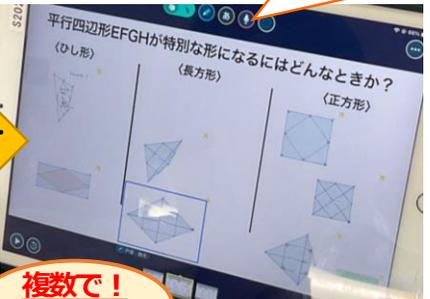
□ 共同編集機能



何度でも！
簡単に！

添付

四角形の頂点を動かして形を変え、表示される長さや角度も参考に、特別な形になる図を見いださせる。



見いだした図を班で集めて分類し、特別な形になる条件を考えさせる。

複数で！
同時に！

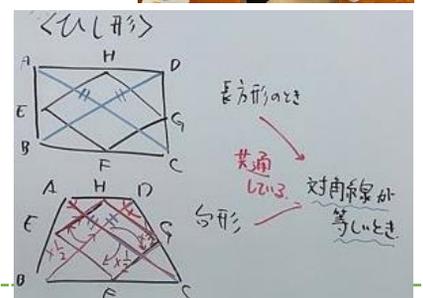
3. 特別な形になる様々な図を全体で共有し、その図が特別な四角形になる理由と、共通する条件を考える。

□ 一覧表示機能



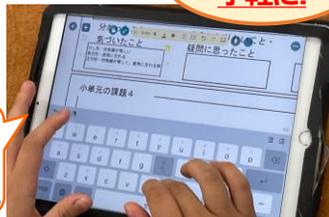
瞬時に！
全員の！

様々な図を提示して条件や理由を交流し、周りの図研に注目した見方だけでなく、対角線に着目した見方にも気付かせる。



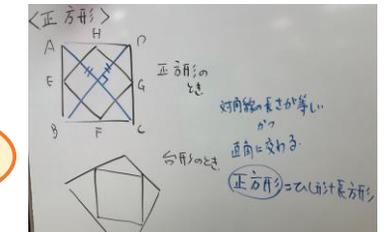
4. 別々の条件が対角線により統合的に見られることと、ひし形と長方形、正方形の包含関係が本時の条件でも成立することをまとめ、振り返りをする。

□ データの保存・提出機能



いつでも！
手軽に！

気付いたこと、疑問に思ったこと、使った考え方を視点に振り返りを入力・保存させる。



【生徒の振り返りより】
まわりの図形の対角線が等しいとひし形になった。なぜなら、中点連結定理や平行を示すことでひし形の性質に当てはまったから。